

2024 年 4 月一介護報酬改定対応版

<対応内容（クローバーⅡ）>

本書では、バージョンアップの主な対応内容について説明します。

<目次>

1. 新興感染症等施設療養費 新設に対応.....	2
2. レセプト 様式の一部変更に対応.....	3
3. 受信データ印刷 原案作成委託料の印刷に対応.....	4
4. 退院退所情報記録書の入力・印刷に対応.....	5

※ 本書には、異なるシステム（サービス種）の画面を用いて説明している箇所があります。
お使いのシステムやサービス種に読み替えてご覧ください。

1. 新興感染症等施設療養費 新設に対応

「新興感染症等施設療養費」（新設）の入力に対応しました。（令和6年4月分から）

短期利用の「新興感染症等施設療養費」を算定する場合は、以下の手順で入力を行ってください。

■ 入力方法（短期利用）

通常の基本サービスと加算を入力し、「新規」をクリックします。

② 「新規」をクリックします。

① 通常の基本サービスと加算を入力します。

提供時間帯	サービス内容	月	火	水	木	金	土	日	計	
4:00 ~ 3:59	短期特定施設生活介護 1				1	1	1	1	1	9
4:00 ~ 3:59	短期特定施設生活介護 1				1	1	1	1	1	9
4:00 ~ 3:59	短期特定施設サービス提供体制加算 1				1	1	1	1	1	9
4:00 ~ 3:59	短期特定施設サービス提供体制加算 1				1	1	1	1	1	9

「基本サービス」から、「新興感染症等施設療養費」を選択してください。

（提供時間帯は変更する必要はありません。）

※ 提供時間帯は変更する必要はありません。

提供時間帯: 23 : 59 ~ 23 : 59

基本サービス: 短期特定施設新興感染症等施設療養費

注加減算: ☐ 全額自己負担

「新興感染症等施設療養費」を選択してください。

コピー先日付: ☐ 予定 ☒ 実績

	月	火	水	木	金	土	日
①	1	2	3	4	5	6	7
②	8	9	10	11	12	13	14
③	15	16	17	18	19	20	21
④	22	23	24	25	26	27	28

ワンポイント

「新興感染症等施設療養費」は、通常の基本サービスや加算とは別行で表示されます。

令和 6 年 4 月

氏名: 0000000003 みつば 和子

被保険者番号: 0000000000 保険者番号: 00172015 保険者名: 金沢市 計画単位数: 6078 予

新規 訂正 削除 全削除 実績へコピー 介護記録入力

計画単位数自動取得 計画単位数: 6078 単位 実績単位数: 6078 単位

提供時間帯	サービス内容	月	火	水	木	金	土	日	計	
4:00 ~ 3:59	短期特定施設生活介護 1				1	1	1	1	1	9
4:00 ~ 3:59	短期特定施設サービス提供体制加算 1				1	1	1	1	1	9
23:59 ~ 23:59	短期特定施設新興感染症等施設療養費				1	1	1	1	1	5
23:59 ~ 23:59	短期特定施設新興感染症等施設療養費				1	1	1	1	1	5

通常の基本サービスや加算とは別行で表示されます。

2. レセプト 様式の一部変更に対応

レセプト（介護給付費明細書）の「退居後の状況」の変更に対応しました。
（介護療養型医療施設の廃止にともない、「介護療養型医療施設入所」が選択肢から削除されました。）

例：居宅サービス・地域密着型サービス介護給付費明細書（様式第6の3）

公費負担者番号

公費受給者番号

令和

6

年

4

月分

保険者番号

1

7

2

0

1

5

被保険者番号

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

(フカナ)

ミツバ カズコ

氏名

みつば 和子

生年月日

1.明治

2.大正

3.昭和

性別

1.男

2.女

要介護状態区分

要介護

1

2

3

4

5

認定有効期間

1.平成

2.令和

6

年

3

月

1

日

から

令和

7

年

3

月

3

日

まで

事業所番号

1

2

3

4

5

6

7

8

9

0

事業所名称

有料老人ホームみつば 1号館

請求事業者所在地

〒921-0000

石川県金沢市〇〇町△△番地××-×

連絡先電話番号

0

入居年月日

1.平成

2.令和

6

年

3

月

1

日

退居年月日

令和

年

月

日

入居場所

入居前の状況

1.居宅

2.医療機関

3.介護老人福祉施設

4.介護老人保健施設

5.介護療養型医療施設

6.認知症対応型共同生活介護

7.特定施設入居者生活介護

8.その他

9.介護医療院

退居後の状況

1.居宅

3.医療機関入院

4.死亡

5.その他

6.介護老人福祉施設入所

7.介護老人保健施設入所

9.介護医療院入所

サービス内容

サービスコード

単位数

回数日数

サービス単位数

公費分回数等

公費対象単位数

摘要

特定施設生活介護 1

3 3 1 1 1 1

5 4 2 3 0

1 6 2 6 0

「介護療養型医療施設入所」を削除しました。

3. 受信データ印刷 原案作成委託料の印刷に対応

受信データ印刷機能について、原案作成委託料に関する以下の通知の印刷に対応しました。

<対象>

- ・ 介護給付費等支払決定額通知書
- ・ 介護予防支援費原案作成委託料明細書
- ・ 介護予防ケアマネジメント費原案作成委託料明細書
- ・ 原案作成委託料支払内容明細書
- ・ 原案作成委託料未支払一覧表

4. 退院退所情報記録書の入力・印刷に対応

「利用者情報管理」画面に「退院退所情報記録書」を追加しました。

一括コピー システム動作環境 外部データ連携 お問い合わせ先 バージョン情報 メニュー構成一覧 お知らせ機能 カスタムサポート

利用者情報管理 ケアプラン管理 介護 ケアプラン管理 予防 ケアプラン管理 請求管理 リスト・帳票 設定

全 あ か さ た な は ま や ら わ 他 全 介 予 事 他 登 利 無 予 実

詳細検索 条件クリア ユミカ+区分: 全行 利用区分: 全登録者 基準日区分: 今日 基準日: 令和 ...

担当ケアマネ: [] 利用者番号: [] 決定 全選択

利用者番号	ヨミガナ	氏名	性別	要介護度	お知らせ
0000000001	カツラ サブロー	桂 三郎	男	介護5	
0000000002	オシバナ シュウ	押花 集	男	要支援2	
0000000003	アサガオ ハナコ	朝顔 花子	女	介護3	
0000000005	アジサイ ヨウコ	紫陽花 葉子	女	介護2	
0000000007	モシロ ヨウコ	紅葉 洋子	女	介護2	
0000000009	カブラ タロウ	無 太郎	男	介護1	
0000000010	アジサイ タロウ	紫陽花 太郎	男	介護1	
0000000011	キョウ アキコ	桔梗 昭子	女	介護1	
0000000012	カシワ ツギコ	柏 次子	女	介護1	
0000000013	スシ タロウ	重 太郎	男	介護2	
0000000014	ヒマワリ タロウ	向日葵 太郎	男	介護3	
0000000015	サクラ タロウ	桜 太郎	男	介護5	
0000000016	ワカメ タロウ	若竹 太郎	男	要支援1	
0000000017	クスノキ モトコ	楠木 本子	女	介護2	
0000000018	トナリ サコ	近所 幸子	女	要支援4	

個人台帳（新規）

個人台帳（訂正）

認定調査票/主治医意見書

未・関心チェックシート

課題整理総括表

入院時情報提供書

退院退所情報記録書

「退院退所情報記録書」の作成に対応しました。

退院退所情報記録書は、利用者が医療機関から退院するにあたって、医療機関からケアマネジャーへの
情報提供用書類としてご使用いただけます。

※厚生労働省から公表された様式に準拠しています。

【1 ページ目】

退院・退所情報記録書

1. 基本情報・現在の状態 等

記入日：令和 6 年 4 月 15 日

属性	フリガナ 石川 介護	性別 男	年齢 76歳	退院(所)時の要介護度 (■要区分変更) ☐ 要支援() ☒ 要介護(1) ☐ 申請中 ☐ なし	
入院(所)概要	・入院(所)日：令和 6 年 4 月 1 日 ・退院(所)予定日：令和 6 年 4 月 18 日				
① 疾患と入院(所)中の状況	入院原因疾患(入所目的等)	脳梗塞			
	入院・入所先	施設名 コンダクト石川病院 南病棟 403号 室			
	今後の医学管理	医療機関名：金沢高尾クリニック		方法	☒ 通院 ☐ 訪問診療
	① 脳梗塞 ② 糖尿病 ③ 高血圧	疾患の状況		安定 (①,②,③) 不安定()	
	現在治療中の疾患				
	移動手段	☒ 自立 ☐ 杖 ☐ 歩行器 ☐ 車いす ☐ その他()			
	排泄方法	☒ トイレ ☐ ポータブル ☐ おむつ ☐ カテーテル・パウチ()			
	入浴方法	☒ 自立 ☐ シャワー浴 ☐ 一般浴 ☐ 機械浴 ☐ 行わず			
	食事形態	☒ 普通 ☐ 経管栄養 ☐ その他() UDF等の食形態区分 2			
	嚥下機能(むせ)	☒ なし ☐ あり(時々・常に)		義歯	☒ なし ☐ あり(部分・総)
② 受け止め/意向	口腔清潔	☒ 良 ☐ 不良 ☐ 著しく不良		入院(所)中の使用： ☐ なし ☒ あり	
	口腔ケア	☒ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助			
	睡眠	☒ 良好 ☐ 不良() 眠剤使用 ☒ なし ☐ あり			
	認知・精神	☐ 認知機能低下 ☐ せん妄 ☐ 徘徊 ☒ 焦燥・不穏 ☐ 攻撃性 ☐ その他()			
	＜本人＞病氣、障害、後遺症等の受け止め方	本人への病名告知： ☒ あり ☐ なし ・脳梗塞(右麻痺/再発2回目) ・再発入院に落ち込んでいる右麻痺、嚥下障害、構音障害 ・言葉と身体の不自由さ、特に発語の機能低下にショックと不安焦燥感が大きい(話すことが苦痛)			
	＜本人＞退院後の生活に関する意向	・言いたいことが思うように発語できず、ストレスを感じているが、機能訓練には前向きに取り組んでいる ・ショックと不安を感じながらも、息子を気遣い、不安感などの気持ちはあまり多くは口に出出来ない様子 ・一方で、「早く家に帰りたい」「甘いものが食べたい」という要望はでている			
	＜家族＞病氣、障害、後遺症等の受け止め方	・とにかく命が助かって良かった ・以前のように回復して欲しいが、主治医から2度目の発症で入院前より介助を要するとの説明を受け理解はしている 息子は仕事もあるので、介護への不安は強いものの、医師予想よりも回復が早く、入院当初よりも不安は軽減している			
	＜家族＞退院後の生活に関する意向	・本人の「早く家に帰りたい」という要望をかなえて、早く連れて帰ってあげたいという意向を持っている ・自宅での介護継続についても、不安はあるものの前向きな態度で、家族としての覚悟が感じられる ・まずは今回の状態像での介護のイメージを早くつかみ、その上で日常生活が安定することを望んでいる			

2. 課題認識のための情報

③ 退院後に必要な事柄	医療処置の内容	☐ なし ☐ 点滴 ☐ 酸素療法 ☐ 喀痰吸引 ☒ 気管切開 ☐ 胃ろう ☐ 経鼻栄養 ☐ 経腸栄養 ☐ 褥瘡 ☐ 尿道カテーテル ☐ 尿路ストーマ ☐ 消化管ストーマ ☐ 痛みコントロール ☐ 排便コントロール ☐ 自己注射() ☐ その他()	
	看護の視点	☐ なし ☒ 血圧 ☐ 水分制限 ☐ 食事制限 ☐ 食形態 ☒ 嚥下 ☒ 口腔ケア ☐ 清潔ケア ☐ 血糖コントロール ☒ 排泄 ☐ 皮膚状態 ☐ 睡眠 ☒ 認知機能・精神面 ☐ 服薬指導 ☒ 療養上の指導(食事・水分・睡眠・清潔ケア・排泄 などにおける指導) ☐ ターミナル ☐ その他()	
	リハビリの視点	☐ なし ☒ 本人指導 ☒ 家族指導 ☒ 関節可動域練習(ストレッチ含む) ☐ 筋力増強練習 ☐ バランス練習 ☒ 麻痺・筋緊張改善練習 ☐ 起居/立位等基本動作練習 ☒ 摂食・嚥下訓練 ☒ 言語訓練 ☒ ADL練習(歩行/入浴/トイレ動作/移乗等) ☐ IADL練習(買い物、調理等) ☐ 疼痛管理(痛みコントロール) ☐ 更生装具・福祉用具等管理 ☐ 運動耐容能練習 ☒ 地域活動支援 ☒ 社会参加支援 ☐ 就労支援 ☐ その他()	
	禁忌事項	(禁忌の有無) ☒ なし ☐ あり	(禁忌の内容/留意点)
	症状・病状の予後・予測	・リハビリを続ければ歩行やトイレ動作、コミュニケーション能力の改善を目指すことができる(転倒リスクあり) ・再発リスクが高いため、定期受診と薬の管理を正確に行う必要がある	
退院に際しての日常生活の阻害要因(心身状況・環境等)	例)医療機関からの見立て・意見(今後の見通し、急変の可能性や今後、どんなことが起こりうるか(合併症)、良くなっていく又はゆっくり落ちていく方向なのか 等)について、①疾患と入院中の状況、②本人・家族の受け止めや意向、③退院後に必要な事柄、④その他の観点から必要と思われる事項について記載する。 脳梗塞による右片麻痺、嚥下障害、構音障害、発病(再発)と体の不自由さや、特に発語障害によるコミュニケーション能力の低下による、気分の落ち込み、ストレス、早期退院希望による入院リハビリの終了、玄関の段差、週3日中独室移動(2階→1階)、階段・廊下・浴室・トイレに手すりの設置		
在宅復帰のために整えなければならない要件			
回目	開き取り日	情報提供を受けた職種(氏名)	会議出席
1	令和 6 年 4 月 15 日	主治医(鈴木)、看護師(佐藤)、PT(田中)	無・有
2	年 月 日		無・有
3	年 月 日		無・有

【2 ページ目】

退院・退所情報記録書									
拡張項目				記入日：令和 6 年 4 月 15 日					
生年月日	昭和23年 3月 3日 生		医療保険証情報		保険者番号		172010		
					被保険者番号		0000156533		
生活歴・価値観	長男が東京へ転勤になって以来、25年間独居生活してこられた。身の回りの事はすべてご自分でできたので不自由はなかった。年金は平均額から少し高いくらいで、独居する分にはそれほど困っていない。今まで自分で何でもやれた分、現在、介護が必要な状況にはとても困惑しており、ストレスの主要因となっている。								
コミュニケーションの状況	問題なし ☒ やや難あり ☐ 困難 ☐ 不可 必要以上にかまわれるのを嫌がり、あれこれ指図されると意固地になりやすい。 言わないと自分から進んで服薬をしようとなしないことが多い。 家族の言う事はほとんど聞かないが、他人の、特に女性の言う事は比較的聞く。								
家族構成	長男夫婦（東京在住） 次男（独身、富山市在住）		キーパーソン		氏名		高尾 昭（学生時代からの友人）		
					連絡先		金沢市〇〇町2-7 076-2XX-3XXX		
合併症	なし								
移動	☐ 自立 ☒ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助				移動手段		☐ ストレッチャー ☒ 装具・補助具		
移乗	☐ 自立 ☐ 見守り ☒ 一部介助 ☐ 全介助				更衣		☐ 自立 ☒ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助		
排泄	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助				カテーテル・パウチの詳細		なし		
排泄方法	☐ 尿器				呼吸苦		☐ あり		
疼痛	☐ あり								
服薬管理	☐ 自立 ☐ 見守り ☒ 一部介助 ☐ 全介助				服薬の 具体内容				
服薬内容	☒ 持参薬 ☒ 処方薬 ☐ 塗布薬								
入浴	☐ 自立 ☐ 見守り ☒ 一部介助 ☐ 全介助				入浴方法		☒ 清拭		
食事	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助				治療食		☒ 糖尿病食 ☒ 高血圧食 ☐ 腎臓病食 ☐ その他		
食事種類	☒ 普通食 ☐ 治療食								
摂取量	1200 Kcal								
本人への告知	病状		☒ 有 ☐ 無		家族への告知		病状 ☒ 有 ☐ 無 続柄 次男		
本人への告知内容					家族への告知内容				
脳梗塞（2回目） 糖尿病 高血圧					脳梗塞（2回目） 糖尿病 高血圧				
家族への 介護指導	不十分な 場合の 問題点								
☒ あり ☐ なし									
理解度									
	☒ 十分 ☐ 不十分								
家族の 介護力	介護指導の 具体的内容		独居のため、普段は家族が家にいないが、次男が定期的に見に来られるので、その際の住居環境や服薬のチェックポイントについて指導した。						
あり ☒ なし									
続柄									
退院先の意向	本人	☒ 在宅 ☐ 施設		意向が施設の場合の 具体的内容	本人				
	家族	☒ 在宅 ☐ 施設			家族				
本人または家族が在宅意向時		住宅改修の必要性	☒ あり ☐ なし			福祉用具の必要性	☒ あり ☐ なし		
		住宅改修が 必要な場合の 具体的内容				福祉用具が 必要な場合の 具体的内容	手すり（階段・廊下・浴室・トイレ）		

【3 ページ目】

退院・退所情報記録書				
拡張項目			記入日：令和 6 年 4 月 15 日	
病院主治医名	鈴木 五郎		在宅主治医名	高尾 一郎
精神面における療養上の問題	☒ なし ☐ 幻視・幻聴 ☐ 興奮 ☐ 焦燥・不穏 ☐ 妄想 ☐ 暴力/攻撃性 ☐ 介護への抵抗 ☐ 不眠 ☐ 昼夜逆転 ☐ 徘徊 ☐ 記憶障害 ☐ 危険行為 ☐ 不潔行為 ☐ 意思疎通困難 ☐ その他			
医療処置の内容	☐ インスリン ☐ 人工呼吸器 ☐ 透析 ☐ 抗がん剤投与 ☐ 中心静脈栄養	看護の視点	☒ 副作用や注意を要する薬剤を使用している場合の指導 ☐ 医療処置方法の指導 ☐ 家族支援 ☒ 感染予防 ☐ 水分出納バランスの管理 ☒ 転倒・転落の危険性	
感染症	☐ HBV ☐ MRSA発症 (☐ 痰 ☐ 血液 ☐ 尿 ☐ 創部) ☐ HCV ☐ その他 []			
リハビリの必要性	あり・なし			
退院後のリハビリが必要な場合の目標				
退院後のリハビリが必要な場合の内容				
本人の今後の療養に関する希望(ACPを含む)	☒ 無		家族の今後の療養に関する希望(ACPを含む)	☒ 無
できることは自分でやりたい。 できなくなったときだけ手助けしてほしい。		なかなか家族が言ってもきかない人なので、なるべく看護師さんに見守ってもらいたい。薬はきちんと飲むようになってほしい。		
終末期の過ごし方の希望				
終末期の過ごし方で希望しないもの	☐ 点滴 ☒ 経管栄養 ☐ 高カロリー輸液 ☐ 心肺蘇生 ☒ 挿管・人工呼吸器 ☐ 入院治療 ☐ その他 []			
代理決定者	氏名	石川 浩	連絡先	東京都杉並区〇〇4-2-18-305
	続柄	長男		
今後の展望と記載者の意見	しばらくは監視と注意が必要だが、ご本人に動く気があるので、負担をかけずできることは自分でなるべくやってもらおうのが、ご本人の精神衛生にも良いと思われる。 ただし、糖尿病はこれ以上悪化すると通常の生活ができなくなるので、食事の管理が重要。			
次回受診日	令和 6 年 4 月 24 日			
カンファレンス等 情報収集	回目	開始時刻	終了時刻	聞き取り場所
	1	令和 6 年 4 月 15 日 時 分	年 月 日 時 分	病棟にて
	2	年 月 日 時 分	年 月 日 時 分	
	3	年 月 日 時 分	年 月 日 時 分	

ご案内は以上です。

<以下余白>

<お問い合わせ>

ご不明な点等がございましたら、サポートセンターまでお問い合わせください。

TEL 0120-036-653

弊社ホームページでも、お問い合わせを受付しております。

システムより「カスタマサポート」をクリック、またはQRコードをスキャン



製造・販売：株式会社コンダクト